科目名	短期海外研修B						年度	2025	
英語科目名	Short term study abroad B						学期	後期	
学科・学年	スポーツ健康学科 サッカーコース 2年次	必/選	選※	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	永山、樋口(マリノス)、八重樫、志佐	教員の実務経験		有	実務経験の職種 クラブチー				

【科目の目的】

研修現地にて、取り組む姿勢から個々のサッカー選手、人としての現時点でのレベルを知ることができ、今までもっていたオンザピッチやオフザピッチの基準を再構築しそれを試みる。

【科目の概要】

ドイツ、オランダ、スペインなどの海外サッカーについての理解を深めます。

【到達目標】

- A. 現地コーチのトレーニングを理解しチームメイトと協力しながら前向きに取り組める B. 国内トレーニングで理解した内容をもとに国際試合でチームメイトと協力し前向きに取り組める C. 異文化に触れることを現地の人間と行うことができる D. 現地に到着してから帰国するまでの生活マナーが守れる

【授業の注意点】

渡航条件に本人・保護者同意の上、参加すること。開催前に参加日の納入をすること。渡航前の説明会にて、研修内容を充分に 理解しそれに準ずる準備を行い参加すること。

※短期海外研修Aを取得した学生は、グループをまとめるなどリーダー的な役割を担ってもらいます。

評価基準=ルーブリック							
ルーブリック 評価	レベル 5 優れている	レベル 4 よい	レベル 3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル 1 要努力		
到達目標 A	現地コーチのトレーニン グを理解しチームメイト と協力しながら前向きに 取り組める		現地コーチのトレーニン グを理解しチームメイト と協力しながら取り組め る		現地コーチのトレーニン グが理解できない。協力 できない。		
到達目標 B	国内トレーニングで理解 した内容をもとに国際試 合でチームメイトと協力 し前向きに取り組める		国内トレーニングで理解 した内容をもとに国際試 合でチームメイトと協力 し取り組める		国内トレーニングで理解 した内容が国際試合で チームメイトと取り組め ない		
到達目標 C	異文化に触れることを現 地の人間と行うことがで きる		異文化に触れることがで きる		異文化に触れることがで きない		
到達目標 D	現地に到着してから帰国 するまでの生活マナーが 守れる		現地に到着してから帰国 するまでの生活マナーが おおよそ守れる		現地に到着してから帰国 するまでの生活マナーが 守れない		

【教科書】

特になし。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

レポートの内容、実技レベルの理解度、向上度、海外の文化などを学び取る意欲・関心・態度にて評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名 英語表記			短期海外 Short term st	年度		025 £期	
回数	授業テーマ	各授業の目的 授業内容 到達目標=修得するスキル		, ,,,,	評価方法	自己語	
			1 国際交流トレーニング	現地でのトレーニングを理解し行える		12	1
国際交流トレーニ 1 ング国際試合試合 観戦、観光など		2 国際交流試合 国際試合にて現時点デノパフォーマンスを十分に 3 試合観戦、観光など 試合観戦でゲームを分析できる、観光で積極的にれることができる					
					ł		
		1 国際交流トレーニング 現地でのトレーニングを理解し行える					
2	国際交流トレーニ 2 ング国際試合試合		2 国際交流試合	国際試合にて現時点デノパフォーマンスを十分に発	軍できる	İ	
観戦、観光など		3 試合観戦、観光など	試合観戦でゲームを分析できる、観光で積極的に異れることができる	文化に触			
		†	1 国際交流トレーニング	現地でのトレーニングを理解し行える			
国際交流トレーニ 3 ング国際試合試合 観戦、観光など		2 国際交流試合	国際試合にて現時点デノパフォーマンスを十分に発	軍できる			
		3 試合観戦、観光など	文化に触				
		1 国際交流トレーニング	れることができる 現地でのトレーニングを理解し行える				
4	国際交流トレーニ 4 ング国際試合試合		2 国際交流試合	国際試合にて現時点デノパフォーマンスを十分に発揮でき			
観戦、観光など	流トレーニ 際試合試合 観光など	3 試合観戦、観光など	試合観戦でゲームを分析できる、観光で積極的に異れることができる	文化に触			
		1 国際交流トレーニング	現地でのトレーニングを理解し行える				
国際交流トレーニ 5 ング国際試合試合 観戦、観光など		2 国際交流試合	国際試合にて現時点デノパフォーマンスを十分に発	軍できる			
		3 試合観戦、観光など	試合観戦でゲームを分析できる、観光で積極的に異れることができる	文化に触			
		1 国際交流トレーニング	現地でのトレーニングを理解し行える				
6	国際交流トレーニ ング国際試合試合	式合試合	2 国際交流試合	国際試合にて現時点デノパフォーマンスを十分に発	軍できる		
	観戦、観光など		3 試合観戦、観光など	試合観戦でゲームを分析できる、観光で積極的に異 れることができる	文化に触		
			1 国際交流トレーニング	現地でのトレーニングを理解し行える		ł	
国際交流トレーニ7 ング国際試合試合 観戦、観光など	ング国際試合試合		2 国際交流試合 国際試合にて現時点デノパフォーマンスを十分		軍できる	İ	
	日本と異なる環境の 中、オンザピッチでは	3 試合観戦、観光など	試合観戦でゲームを分析できる、観光で積極的に異れることができる	文化に触			
		外国人との試合や現地 コーチによるコーチン	1 国際交流トレーニング	現地でのトレーニングを理解し行える			
国際交流トレーニ 8 ング国際試合試合	ング国際試合試合	グセッションを経験する。オフザピッチでは 試合観戦、現地観光を	2 国際交流試合 国際試合にて現時点デノパフォーマンスを十		軍できる	2	
	観戦、観光など		3 試合観戦、観光など	試合観戦でゲームを分析できる、観光で積極的に異れることができる	文化に触		
		行いながら異文化を充 分に体感し人間力向上	1 国際交流トレーニング	現地でのトレーニングを理解し行える			
9	国際交流トレーニ ング国際試合試合		2 国際交流試合	国際試合にて現時点デノパフォーマンスを十分に発	軍できる		
観戦、観光など	観戦、観光など		3 試合観戦、観光など	試合観戦でゲームを分析できる、観光で積極的に異れることができる	文化に触		
			1 国際交流トレーニング	現地でのトレーニングを理解し行える			
10	国際交流トレーニ 10 ング国際試合試合	代合	2 国際交流試合	国際試合にて現時点デノパフォーマンスを十分に発	軍できる		
観戦、観光など	光など	3 試合観戦、観光など	試合観戦でゲームを分析できる、観光で積極的に異れることができる	文化に触	İ		
			1 国際交流トレーニング	現地でのトレーニングを理解し行える			
国際交流トレーニ 11 ング国際試合試合 観戦、観光など	グ国際試合試合 改、観光など	2 国際交流試合	国際試合にて現時点デノパフォーマンスを十分に発	軍できる	Ì		
		3 試合観戦、観光など	試合観戦でゲームを分析できる、観光で積極的に異 れることができる	文化に触			
		1 国際交流トレーニング	現地でのトレーニングを理解し行える				
12	国際交流トレーニング国際試合試合		2 国際交流試合	国際試合にて現時点デノパフォーマンスを十分に発	軍できる	Ì	
	観戦、観光など		3 試合観戦、観光など	試合観戦でゲームを分析できる、観光で積極的に異れることができる	文化に触	1	
			1 国際交流トレーニング	現地でのトレーニングを理解し行える		İ	
国際交流トレーニ 13 ング国際試合試合		2 国際交流試合	国際試合にて現時点デノパフォーマンスを十分に発	軍できる			
	観戦、観光など		3 試合観戦、観光など	試合観戦でゲームを分析できる、観光で積極的に異れることができる	文化に触		
	Ed thirty, 1 () de 2	† †	1 国際交流トレーニング	現地でのトレーニングを理解し行える		<u> </u>	
国際交流トレーニ 14 ング国際試合試合		2 国際交流試合 国際試合にて現時点デノパフォーマンスを十分に発					
	観戦、観光など	ビ	3 試合観戦、観光など	試合観戦でゲームを分析できる、観光で積極的に異れることができる	文化に触	Ì	
	note to No.		1 国際交流トレーニング	現地でのトレーニングを理解し行える			F
15	国際交流トレーニング国際試合試合]際試合試合	2 国際交流試合	国際試合にて現時点デノパフォーマンスを十分に発	軍できる	Ì	
	観戦、観光など		3 試合観戦、観光など	試合観戦でゲームを分析できる、観光で積極的に異 れることができる	文化に触	İ	

自己評価:S: とてもよくできた、A: よくできた、B: できた、C: 少しできなかった、D: まったくできなかった